

社会への参加と生きがい

2018 年追試

問 5 人間として望ましい生き方について考えた人物の説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 神谷美恵子はハンセン病患者の療養所での勤務体験をもとに人間の目指すべき生き方を追求し、生きるうえで「使命感」をもつことの重要性を説いた。
- ② 「水平社宣言」を起草して差別の打破を訴えた景山(福田)英子は、人々が自由と平等に基づく生き方ができる社会の実現を説いた。
- ③ 神谷美恵子は戦争の反省から「過去に目を閉ざす者は、現在にも目を閉ざす」と演説し、過去への責任を引き受け、未来を目指す生き方を説いた。
- ④ 『みだれ髪』を発表して官能を大胆にうたった景山(福田)英子は、^{ふる}旧い道徳に縛られずに自由に生きることを説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 5	5	①	2

2016 年本試

問 8 ボランティア活動についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① 地域社会でのボランティア活動が高まった結果として，近年では，高齢者介護や子育て支援のための公的な福祉制度・サービスを充実する必要性は，徐々に減少しつつある。
- ② 東日本大震災の発生直後，大勢の人々が被災地へと駆けつけ，被災者への支援を提供した結果，東日本大震災が発生した 2011 年は，ボランティア元年と呼ばれつつある。
- ③ インドで孤児や病人に対する救済活動に生涯を捧^{きさ}げたレイチェル・カーソンの実践は，キリスト教に基づく人間愛や社会的弱者への共感を背景としており，ボランティアの精神と通じるところがある。
- ④ ボランティアは，意志や好意などを意味するラテン語を語源としており，自発性(自主性)，社会性(福祉性)，および，対価としての報酬を求めないことが，顕著な特徴として指摘されている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 8	8	④	3

2016 年追試

問 9 次の文章は、生の意味をめぐるフランクルの思想についての説明である。この文章を読み、～に入れる記述をア～カから選び、その組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

フランクルは、において、未来への希望を失い、「このまま生きても、人生に何も期待できない」と語る者が、いかにして生の意味を見いだせるかについて思索した。彼は、そのような者が生に対して問うのをやめ、ことの重要性を説いた。この思想を通じて、生の意味が、言葉で語る次元にではなく、生きることのうちに、すなわち、各人がと主張した。

- ア ナチス政権下の捕虜体験をもとに執筆した『全体性と無限』
- イ アウシュヴィッツ収容所での体験を綴った『夜と霧』
- ウ 問いを自己自身に向け、認識を疑い続けることで、独断や偏見を取り除く
- エ 自分自身が生から問われていることを自覚し、その問いかけに答える
- オ 与えられたその都度の課題を果たし、要請を充たす行動のうちにある
- カ 幸福を求めず、幸福となるに値する道徳的義務を果たすことのうちにある

- ① a－ア b－ウ c－オ
- ② a－ア b－ウ c－カ
- ③ a－ア b－エ c－オ
- ④ a－ア b－エ c－カ
- ⑤ a－イ b－ウ c－オ
- ⑥ a－イ b－ウ c－カ
- ⑦ a－イ b－エ c－オ
- ⑧ a－イ b－エ c－カ

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 9	9	⑦	3

2013 年追試

問 10 「大人になった」に関連して、精神的・経済的自立に関わる問題の説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① 職業訓練は受けているものの、学校に行っておらず、仕事にも就いていない 15 歳から 34 歳までの未婚者をニートという。
- ② 認知発達のプロセスの中で、自己中心的な思考から脱却できず、精神的自立も困難になる傾向をエゴイズムという。
- ③ 学校卒業後も親と同居し、生活費や食費などの経済面において親に依存している未婚者をパラサイト・シングルという。
- ④ 大人へと成長することを望みながら、いつまでも大人に依存する青年心理をピーターパン・シンドロームという。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 10	10	③	2

2008 年本試

問 2 青年期特有の悩みに関連して、このような心理的な状態を分析した次の人物
ア～エと、それぞれの人物が強調したキーワード A～D の組合せとして最も適
当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 2

ア エリクソン

イ フランクル

ウ シュプラングァー

エ レヴィン

A 自我のめざめ

B 境界人

C 人生周期(ライフサイクル)

D 生きる意味

① アーA イーB ウーD エーC

② アーC イーD ウーA エーB

③ アーC イーA ウーD エーB

④ アーD イーC ウーB エーA

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 2	2	②	2

2005 年追試

問 7 ナチスによる迫害を受けた人物に、オーストリアの精神医学者フランクフルが
いる。フランクフルについての記述として最も適当なものを、次の①～④のうち
から一つ選べ。

35

- ① 神経症の治療や夢の研究を進める中で、人間の行動の根底には無意識の衝動が潜んでいると考えた。人間の非合理的側面に注目し、人間の性的な衝動は、宗教や文化、芸術などとも深く ^か関わっているとした。
- ② 人間には自由を得たいという欲求とともに、孤独への不安感があると考えた。自由を得た大衆は、自分で判断することへの重責に不安を感じて、強力な信念をもった指導者に従うことを求め、かえって自由を喪失するとした。
- ③ 人間は、どのような力や技術を使っても克服できない状況に陥り、自らの非力を自覚することがある。そこから逃れようとせず、限界状況を積極的に引き受けようとするならば、超越者に出会うことができるとした。
- ④ あらゆる自由が奪われる状況においても、人間らしい尊厳に満ちた生き方が求められていると考えた。人生に期待できるものは何もないという絶望と戦うためには、人生の意味についての見方を変える必要があるとした。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 7	35	④	3

2001年追試

問7 欲望をめぐっては思想家たちが様々な観点から考察を展開してきた。このことに関連して、それぞれの思想家の考え方を説明する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① キルケゴールは、主体的真理を求める実存のあり方の第一段階を、感性的快楽を追い求める美的実存と呼び、その生き方に絶望したとき、第二段階の宗教的実存、さらに最後の段階の倫理的実存に目覚めていくと説いた。
- ② 神谷美恵子は、ハンセン病患者との出会いの中で、生きがいを喪失した絶望感と生きがいを見いだした至福感とに接した体験に基づいて、物質的な充足とは次元を異にする精神的世界の価値の大切さを説いた。
- ③ パウロは、『旧約聖書』のアダムの物語を手がかりとして、原罪とは知恵の木の実を食べたために人間に芽生えた知的欲望のことであり、この原罪を自覚すれば人間は救済されると説いた。
- ④ アリストテレスは、中庸の理論の立場から、数量的に中程度の欲望の充足で満足できることが、ポリスに生きる市民がもつべきすべての徳（卓越性）の基礎であると説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第1問	問7	8	②	3